



越前で繁栄を極めた

二つの都市。

戦乱の中、

さまざまな

策略に揺れ動き、

滅びの道へと

歩んでいった。



戦国歴旅フォーラム

よみがえる中世都市

一乗谷と平泉寺

◆日時／平成29年 3月12日(日) 13:00~15:30

◆場所／勝山市教育会館 1階ホール(勝山市元町1丁目5-6)

◆定員／200名

◆参加費／無料【要申込】

特別ゲスト ^{わだりゅう} 和田 竜氏

著書／「のぼうの城」「村上海賊の娘」など。
代表作「忍びの国」は、
平成29年夏に嵐・大野智主演で映画化決定。

当日会場にて関連書籍をご購入いただいた方の中から、
先着50名様にサイン色紙をプレゼント!



©新潮社

来る人も
住む人も
しあわせ福井

FUKUI
HAPPINESS

福井県

主催

「戦国ふくい」の文化遺産活用実行委員会(福井県ほか)、勝山市
福井県福井市大手3丁目17-1 福井県観光営業部文化振興課内
TEL.0776-20-0580 E-mail bunshin@pref.fukui.lg.jp

戦国歴史フォーラム

よみがえる中世都市 一乗谷と平泉寺

中世、越前で繁栄を極めた一乗谷と平泉寺。二つの都市は、互いに協力し、時には敵となって存在しました。

天下統一を目指す織田信長や各地を席卷した一向一揆の勢力によって滅んだ二つの都市は、

現在、発掘によってよみがえり、当時の姿を私たちに伝えていきます。

今回のフォーラムでは、地域の宝である文化財の魅力と価値、その文化財の活用などについて、さまざまな視点からお話いただきます。

◆日 時／平成29年3月12日(日) 13:00~15:30

◆場 所／勝山市教育会館 1階ホール(勝山市元町1丁目5-6)

※駐車場は、教育会館裏もしくは近くの北陸労働金庫勝山支店横の空き地をご利用ください。

【はじめに】

「一乗谷朝倉氏遺跡と白山平泉寺 これまでとこれから」

一乗谷朝倉氏遺跡や白山平泉寺の史跡整備、史跡に関わる活動などを紹介します。

◎説明／勝山市史蹟整備課 世界遺産推進室 学芸員 阿部 来 氏

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 文化財調査員 川越 光洋 氏

【講演・対談】

「文化財を活かした地域づくり」

世界遺産の取組事例をもとに、文化財を活かした持続的な地域づくりについて対談形式でお話します。

◎講演／西村 幸夫 氏 ◎対談／吉岡 泰英 氏



にしむら ゆきお
西村 幸夫 氏

東京大学副学長、同大先端科学技術研究センター所長などを歴任し、現在、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。日本イコモス国内委員会委員長、国土交通省国土審議会委員、文化庁参与等もつとめる。世界遺産記念物会議(ICOMOS)元副会長。

よしおか やすひで
対談／吉岡 泰英 氏

元福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館長。建築史を専門とし、「復原町並」整備などを担当。白山平泉寺の史跡整備にも関わるほか県内外の文化財保存等に指導的立場で携わる。

第1部

【朗 読】

勝山市を中心に活動している「劇団ドラゴン・ファミリー」の若手俳優の方々が和田竜氏の代表作品「忍びの国」より戦国の壮絶な戦の場面を朗読します。

【特別対談】

「中世都市 一乗谷と平泉寺、その魅力」

福井県に残る二つの中世都市遺跡の歴史的の魅力や特色を紐解きます。

◎ゲスト／和田 竜 氏 ◎インタビュー／西村 幸夫 氏



わだ りゅう
和田 竜 氏

早稲田大学卒。時代劇・時代小説を専門とする脚本家、小説家。大阪府生まれ、広島県広島市育ち。埼玉県在住。オリジナル脚本「忍ぶの城」で第29回城戸賞を受賞し、同作の小説化作品『のぼうの城』が第139回直木賞候補、『村上海賊の娘』(新潮社)で2014本屋大賞受賞

定員／200名

※お申込みは
福井県観光営業部文化振興課まで

参加費／無料

第2部

主 催

「戦国ふくい」の文化遺産活用実行委員会(福井県ほか)、勝山市

福井県福井市大手3丁目17-1 福井県観光営業部文化振興課内 ◎当日は、和田氏の書籍販売も行っています。

〈 申 込 書 〉

参加希望は下記にご記入いただき、このままFAX (0776-20-0661) してください。

お電話またはメールでも受け付けています。複数でお申込みされる場合、代表者様のお名前、連絡先、参加人数を記載してください。

TEL.0776-20-0580 E-mail bunshin@pref.fukui.lg.jp

◆お名前	様	◆参加希望人数	名
◆ご住所			

TEL.

平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)

